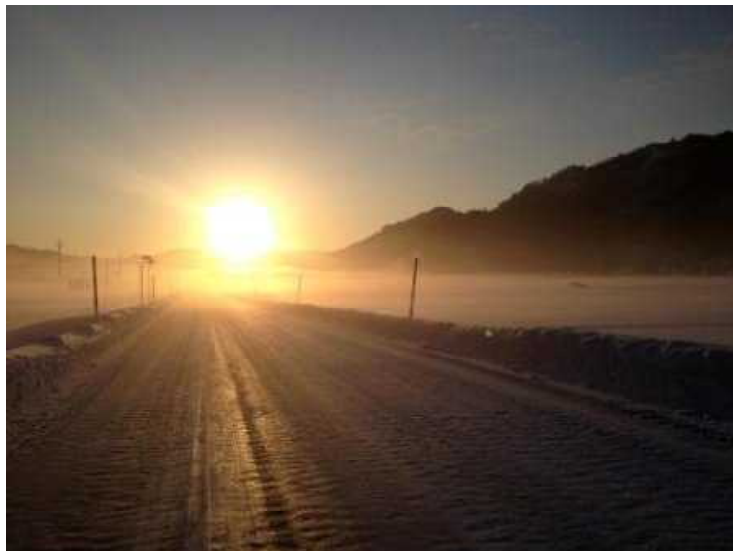


教育広報

南 会

編集・発行 福島県教育庁南会津教育事務所
 発行責任者 塩田 正 信
 編集協力 市町村教委連絡協議会南会津支会
 南会津郡小中学校長協議会



【初日（只見町梁取地区）】

例年、元旦は、吹雪か良くても曇り空で迎える雪国南会津。今年は珍しく、初日を拝むことができました。

大晦日から元日にかけての夜空は澄み渡り、「オリオン座」「北斗七星」などが輝いていました。加えて1月3日にピークを迎えた「しぶんぎ座流星群」のためか、きれいな流れ星も見ることができました。今年1年良い年であるように願いをかけた方々も多かったのではないのでしょうか。

『インスタントラーメン』

下郷町教育委員会教育長

大 竹 康 隆

日本には、「人は美徳の性をもって生まれ、教育がそれを開花させる」と考える「生来の善を育む」という欧米とは違う体罰無用の思想があり、明治初期までの来日外国人の多くが日本の「体罰無き教育」に注目したと言われている。

ところが、最近では「強いチームをつくるには体罰も必要」などと体罰を肯定する考えが出没し、極めて日本的な印象を与えているから不思議である。

体罰の瞬間、崇高な指導精神は消失し、チープな感情のみが指導者の精神の全てを支配する。それに気づいても「目標を実現させてやりたいと願う、合理的な厳しい指導」の部分の盾に、体罰を正当化する。何故に崇高な精神をチープな体罰に同化させてしまうのか。学校教育法で禁止している体罰を教育に携わる者が正当化しては、ソクラテスも浮かばれまい。

体罰はケース・バイ・ケースで容認されるものではないが・・・。

今から56年前、インスタントラーメンが大衆食品の西の横綱で、魚肉ソーセージが東の横綱であった時代である。そのインスタントラーメンを食べるにも、一人1個は許されず、お湯を注ぎ3分間待って姉弟3人で等分し、僅か3分の1でも十分な感動を味わえた時代である。父が食堂御用達の胡椒を買って来て、「ラーメンには、コレが無くては」と通ぶって自慢していたときに事件は起きた。

わたしは、好奇心から、取る必要の無い小さな穴の開いた内蓋を無理矢理取った。その瞬間、瓶の中の胡椒が飛び散り、容赦なく目に飛び込んだ。一瞬激痛で泣くことさえ忘れていたその時、日頃子どもに手をあげることの無かった父が、憎しみを込めたとしか思えないほどの強さで頬を平手でぶった。頬にも激痛が走り、泣き出してしまった。絶対許せない感情がわたしの中に。

涙で胡椒を洗い流すために、父が強くぶったことを母から聞いたのは、だいぶ時が過ぎてからである。

『「THE TIGERS」見聞録』

福島県教育庁南会津教育事務所次長（総務）

兼総務社会教育課長

万波 憲 一

ザ・タイガースといえば、60年代後半に一大ブームとなったGS(グループサウンズ)の中でも、その人気、実力、スター性等から常にトップの地位を保ち、多くのファンの惜しむ中、71年1月に武道館で解散したグループである。

メンバーは、年齢順に、瞳みのる、森本太郎(各67歳)、岸部一徳(66歳:当時「おさみ」)そして加橋かつみ、沢田研二(各65歳)の5人(途中加橋が脱退し、一徳の弟シローが加入)で、出す曲出す曲がそのB面まで悉くヒット。当時中学生だった私にまで全てのレコードを買わせてしまうほどの人気だった。

そのタイガースが2013年、42年ぶりにオリジナルメンバーで再結成し、全国でコンサートを行うという。

「これは絶対に行かねば!」。乏しい人脈を駆使して、何とか年末の東京ドームでのチケットを1枚ゲット。

職場の同僚や妻の厚意のもと、勇躍上京した次第。

不安だったのは、「中止にならないか?」ということ。

何しろ彼らは高齢であり、全国を回った疲れで倒れたりしないか?また、解散時の経緯から再び仲間割れなどしないか?大いに心配尽きず。

しかし、それは全くの杞憂。当日は予定どおり開催。先ず、会場に入って驚いたのは、客の多く(8割強?)が60前後の女性だったこと。まさに、日本中のオバサンが集結したような異様なムード。

ステージは2部構成。

1部は、ビートルズやビージーズ等彼らの好む洋楽の演奏で、会場も落ち着いた雰囲気。

驚くべきは、2部までの休憩時間が30分

もあったこと。これは、ほかの会場での休憩が短く、多くの女性客がトイレから帰れなかった教訓によるらしい。しかし、この日も、開演10分前にして女子トイレの前は長蛇の列。男子トイレを解放するなどの工夫が必要であった。

そして、2部が漸く開幕。ここでは、タイガースオリジナルメロディのオンパレード。

出てくる曲ごとに会場の歌声も一層大きくなり、「君だけに愛を」や「シーサイドバウンド」では、皆が立ち上がって大合唱。小生、懐かしさと感動で不覚にも落涙。

2度目のアンコールでは、シローも含めた6人が舞台であいさつ。「今日が新たな記念日となりました」とのジュリーの言葉に、「また来年もやるのかな?」との期待が満員の会場に充満。

最後は、「タイガースありがとう」の大歓声で終演。会場の皆が昔に戻り、「生きてて良かった!人生っていいもんだ!」を実感した夜でありました。

管理の窓

域内の子どもたちの夢実現に向けた学級経営、学校経営に日々努めていただき、感謝いたします。管理訪問で、子どもたちのきらきら輝く瞳を目の前にしたとき、自然と笑顔になります。子どもたちや教職員の笑顔があふれる学校とするために、自校の課題をしっかり把握し、解決に組織として取り組んでいくことが大切であると考えます。その達成のために、管理面でも数々の研修を実施しております。ここでは、教師力の向上を目的とした「南会津ならでは」の研修を紹介します。



- 学校事故防止対策研究協議会では、「南会津コンプライアンス2013」を活用して、ロールプレイングによる研修を行いました。参加者(教頭先生方)の演技力により、リアリティ満点の研修となりました。各学校にもロールプレイングを盛り込んだ研修会の実施をお願いしています。
- 公立学校長地区別研修会では、南会津町出身である現千葉大学ジェネラルサポーターの星幸広先生を招聘し、危機管理意識の高揚、保護者への対応等について、具体的な事例をもとにしたお話を伺いました。校長としての職責の重さを受け止め、危機意識を高めることができました。
- 域内服務倫理委員会では、南会津教育事務所の社会教育課・郡PTAで推進している「ふれあい家訓づくり」に倣い、標語をつくりました。職務遂行能力の向上や不祥事防止をふまえた標語ができあがりました。(右参照)

本年度、域内の不祥事による処分は「ゼロ」です。高い倫理観も南会津の誇りです。

- 域内服務倫理委員会作成標語
- ① 「不祥事防止(帽子) キャップは校長」
 - ② 「おはようのあいさつ交わし 笑顔広がる只見町」
 - ③ 「ならぬことは ならぬものです。」
 - ④ 八重の約束 飲酒・セクハラ・パワハラ・体罰…防止
 - ⑤ 「熱い心 熱い姿勢で 学校力向上」
- 「まさか まさかは気の緩み まさかをなくして 不祥事なくせ」